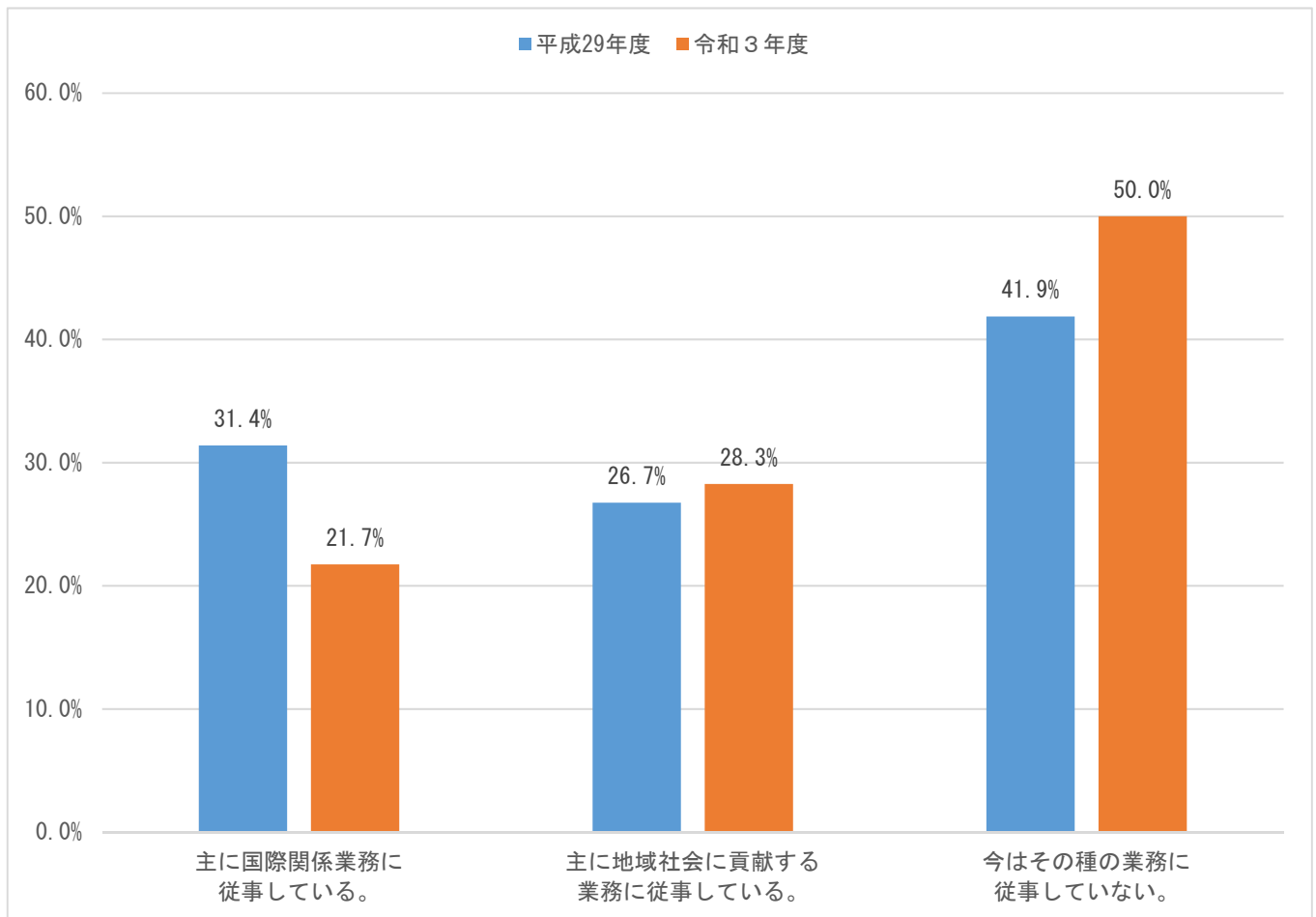


問9-2.【問9で1～13又はその他を選んだ方のみ回答】あなたはいわゆる国際関係業務や地域社会に貢献する業務に従事していますか。いずれか一つ選択してください。

平成29年度	主に国際関係業務に従事している。	主に地域社会に貢献する業務に従事している。	今はその種の業務に従事していない。	合計
国際青年育成交流事業	3(名)	3(名)	3(名)	9(名)
	33.3%	33.3%	33.3%	100%
日本・中国青年親善交流事業	0(名)	1(名)	3(名)	4(名)
	0.0%	25.0%	75.0%	100%
日本・韓国青年親善交流事業	2(名)	1(名)	1(名)	4(名)
	50.0%	25.0%	25.0%	100%
地域課題対応人材育成事業 「地域コアリーダープログラム」	1(名)	3(名)	0(名)	4(名)
	25.0%	75.0%	0.0%	100%
「東南アジア青年の船」事業	10(名)	3(名)	10(名)	23(名)
	43.5%	13.0%	43.5%	100%
「世界青年の船」事業	11(名)	12(名)	19(名)	42(名)
	26.2%	28.6%	45.2%	100%
合計	27(名)	23(名)	36(名)	86(名)
	31.4%	26.7%	41.9%	100%

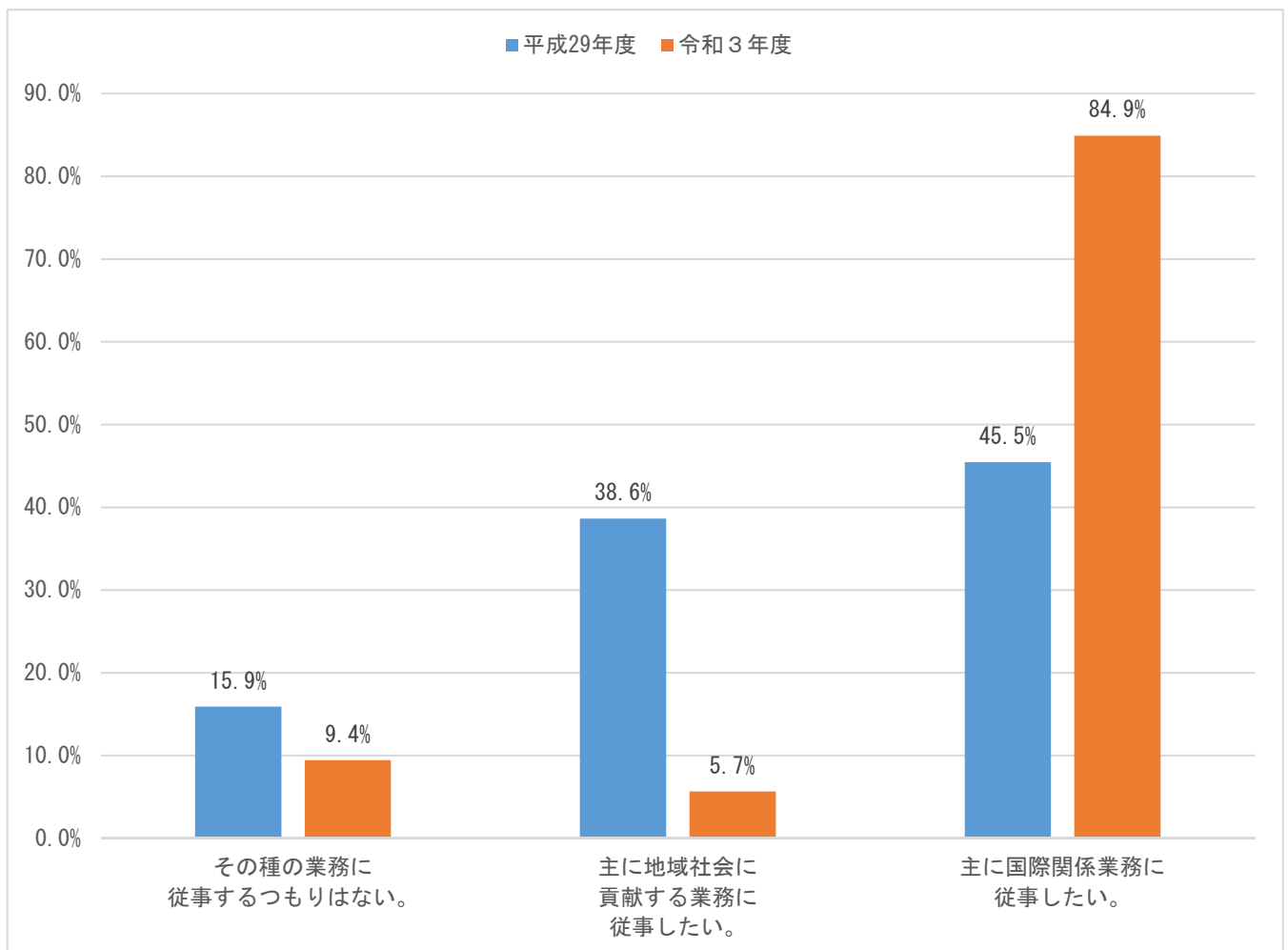
令和3年度	主に国際関係業務に従事している。	主に地域社会に貢献する業務に従事している。	今はその種の業務に従事していない。	合計
国際社会青年育成事業 (オンライン)	0(名)	5(名)	6(名)	11(名)
	0.0%	45.5%	54.5%	100%
日本・中国青年親善交流事業 (オンライン)	1(名)	0(名)	3(名)	4(名)
	25.0%	0.0%	75.0%	100%
日本・韓国青年親善交流事業 (オンライン)	0(名)	0(名)	0(名)	0(名)
	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
「東南アジア青年の船」青年会議 (オンライン)	5(名)	2(名)	7(名)	14(名)
	35.7%	14.3%	50.0%	100%
「世界青年の船」事業 (オンライン)	4(名)	6(名)	7(名)	17(名)
	23.5%	35.3%	41.2%	100%
合計	10(名)	13(名)	23(名)	46(名)
	21.7%	28.3%	50.0%	100%



問 9-3. 【問 9 で 14～16 を選んだ方のみ回答】あなたは今後いわゆる国際関係業務や地域社会に関する業務に従事したいですか。いずれか一つ選択してください。

平成29年度	その種の業務に従事するつもりはない。	主に地域社会に貢献する業務に従事したい。	主に国際関係業務に従事したい。	合計
国際青年育成交流事業	1 (名)	2 (名)	2 (名)	5 (名)
	20.0%	40.0%	40.0%	100%
日本・中国青年親善交流事業	1 (名)	2 (名)	0 (名)	3 (名)
	33.3%	66.7%	0.0%	100%
日本・韓国青年親善交流事業	1 (名)	2 (名)	0 (名)	3 (名)
	33.3%	66.7%	0.0%	100%
地域課題対応人材育成事業 「地域コアリーダープログラム」	0 (名)	0 (名)	1 (名)	1 (名)
	0.0%	0.0%	100.0%	100%
「東南アジア青年の船」事業	0 (名)	4 (名)	9 (名)	13 (名)
	0.0%	30.8%	69.2%	100%
「世界青年の船」事業	4 (名)	7 (名)	8 (名)	19 (名)
	21.1%	36.8%	42.1%	100%
合計	7 (名)	17 (名)	20 (名)	44 (名)
	15.9%	38.6%	45.5%	100%

令和3年度	その種の業務に従事するつもりはない。	主に地域社会に貢献する業務に従事したい。	主に国際関係業務に従事したい。	合計
国際社会青年育成事業 (オンライン)	3(名)	0(名)	11(名)	14(名)
	21.4%	0.0%	78.6%	100%
日本・中国青年親善交流事業 (オンライン)	0(名)	1(名)	9(名)	10(名)
	0.0%	10.0%	90.0%	100%
日本・韓国青年親善交流事業 (オンライン)	0(名)	0(名)	5(名)	5(名)
	0.0%	0.0%	100.0%	100%
「東南アジア青年の船」青年会議 (オンライン)	1(名)	1(名)	8(名)	10(名)
	10.0%	10.0%	80.0%	100%
「世界青年の船」事業 (オンライン)	1(名)	1(名)	12(名)	14(名)
	7.1%	7.1%	85.7%	100%
合計	5(名)	3(名)	45(名)	53(名)
	9.4%	5.7%	84.9%	100%



## 問 10. その他、御意見等ありましたら御記入ください。

- ・ 東南アジア青年の船に参加して、仕事もプライベートも大きく幅が広がりました。本当にありがとうございました。今はオンラインを主とした交流ですが、より密度の高い交流のためコロナ以前の形式にいずれ戻ることを祈っています！また、事後活動について、コロナが始まってから対面で接点もてずに長野県 IYE0 の会員が一切増えず、活動が縮小する一方で、なにか打開策がないかメンバーで試行錯誤しているところです。こちら引き続き頑張りたいと思います。
- ・ 現在、既参加青年の方々と Facebook グループで繋がっています。今後、事業の学びを生かし、新たなプロジェクトを立ち上げる機会とするため、年1回でも、オンライン会議を設けたいと考えています。そのほか、2023 年度 SSEAYP の事前研修でも、チームビルディングの時間を企画・担当しました。現在は勤務先の業務に慣れることが最優先であるため、事後活動に従事する余裕はありません。それでも、生涯を通じて申し上げれば、他の方の企画に参加したり、事後活動をする心意気を保っております。今後も、JPY リーダーとして、SSEAYP 及び事後活動に可能な限り貢献したく存じます。御指導のほど、よろしく願い申し上げます。
- ・ 引き続き事業の継続をお願い致します。
- ・ 参加者の繋がりが薄れてきてしまっていることを残念に思っています。加えて、なかなか全体の音頭を取る人も現状いないことも残念に思っています（自分がやればよいのですが…）。ただし、何か困ったことがあったときには、同期に相談ができるだろうという心の拠り所ではあると思っています。事後活動に関しては、一度加入のタイミングを逃すとその後の繋がりが急速に減っていったことを残念に思っています。特に任意であるという点で、必ずしも IYE0 でなくても、地域社会ひいては国際社会に貢献ができるだろうという思考に結びついてしまっています。また、皆様方とのご縁が持てるようでしたら、それは嬉しく思います。
- ・ 社会人になってから事業に参加したのですが、就職する前に参加していたら進路が変わっていたかもしれないと強く感じています。キャリア形成という点において転職には至っていません。
- ・ 現在、就職活動中ですが、海外にも拠点のある企業に入り、将来は海外で働きたいと考えている。
- ・ 私自身は内閣府事業を通じて生き方が変わったと感じる。大学時代の専門は理系的な内容だったが、内閣府事業などでの経験を通じて国際社会への貢献に興味を持ち、現在では国際税務の分野で国際社会へ貢献したいと考えて日々仕事に取り組んでいる。また、IYE0 活動を通じて、地域社会への貢献も目指している。こうした今の私の在り方を決定づけたものの一つに内閣府事業があったことは間違いなく、おそらく今の活動に対して私と同様に影響を受けた参加青年は多い。そうした観点から、この事業の引き続きの継続を希望する。
- ・ ご参考までに、事後活動の一環として立ち上げた団体の公式 SNS のページをお送りします。  
[https://www.instagram.com/stage\\_mphen/](https://www.instagram.com/stage_mphen/)  
これまでの活動は以下のとおりです。世界青年の船に参加したウクライナ人とのウクライナ文化セミナー、東部在住のウクライナ人とのチャリティイベント、東南アジア青年の船参加青年との高校生向け東南アジア文化セミナー、アマゾンジャパン勤務の方との高校生向けキャリアセミナー
- ・ 学生メンバーによる在外外国人向けオンライン日本語教室等
- ・ オンラインで開催された分、他の参加者との関係は深まっていないように感じます。Zoom 等で話せるような機会をいただくと、人的ネットワークの形成に役立つと思いますので、ご検討いただくと幸いです。
- ・ 国として国際的視野をもつ青年を育成する活動に寄与したい意志はあるが、自分の強みや関心に合った機会を見つけれられていない。何かご紹介いただけるようなら、ありがたいと思う。
- ・ 国際交流事業への参加は私の人生の中での大きな転機となりました。学生の時に、大学やサークルの中だけでない、世の中の”一流”の視点や実行力を見ることができたことは今の社会人生活においてもかなり役立っております。今後も可能な限り継続していただきたい事業だと思っております。
- ・ 内閣府青年国際交流事業で培った経験は、間違いなく役に立っています。コミュニケーションの本質を学んだので、業務で「人と協働する」という部分で相手の気持ちを理解した行動を取る事ができたと考えております。今後もここで学んだことを社会・世界に還元していきたいと考えております。SWY に参加しなかったら今の自分の心の豊さも無かったと思うので、本当に感謝しています。事業の存続の一助になれるよう、日々の業務を通して訴求していきたいと思っております。

- ・ 職選びやキャリア形成は、なかなか思うようにいかないが、参加青年同士のつながりにとても助けられている。ささやかなやりとりで、海外の生活状況を知ることができ、知見も広げられる。直接会ったことはなくても、研究調査に協力したり、求人情報をもらうこともある。自分たちの手で、社会を、未来を動かそうとする姿勢や行動に勇気づけられている。一生の財産とを感じる。
- ・ 世界青年の船事業に参加したのですが、OPY、JPY 問わず今でも日常的にやり取りをする何人かいて、そのうち何人かは自分の人生にとってかけがえのない存在となっています。本事業で得た学びやつながりを、時間をかけてでも何かしらの形にして還元していきたいと思っております。自治体職員となった今、予算を確保する難しさを感じ、内閣府の皆さんには感謝の思いが募る日々です。ぜひ本事業が継続してほしいです！